



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.39

地域連携病院③「那賀町立上那賀病院」

今回は、那賀郡那賀町にある那賀町立上那賀病院をご紹介します。

■ 地域のために貢献する病院として

町内唯一の病院として、以前は24時間365日断らない医療を目指して診療していましたが、近年看護師が少なくなり、夜間・休日診療ができなくなりました。軽い症状であっても、夜間・休日で治療が必要な場合は自動車で1時間以上かかる遠方の病院に行ってもらわねばなりません。このような厳しい状況ですが、少しでも地域の皆さんのためにできることとして、訪問診療に力をいれています。夜間や休日であっても、患者さんから電話をいただければ、可能な限り患者さんのご自宅に出向き、診察を行っています。重症であれば、遠方の病院に行っていたことになりませんが、そうでない場合はご自宅で点滴や薬を処方し、後日、上那賀病院で改めて診察するようになります。体調が悪いのにさらに遠方の病院まで移動する負担がかかるという状況を少しでも減らすために、夜間・休日の訪問診療に積極的に取り組んでいます。

通常の外来においては、「どのような方でも診る」をモットーに、医師はそれぞれに専門領域がありますが、総合診療医であると医師ひとりひとりが自覚して、子



自然に囲まれた那賀町立上那賀病院

どもから大人までどんな症状の方でも診るようにしています。

また、上那賀病院では専門外来も開いています。徳島県立海部病院の脳神経外科の専門医による月2回の脳神経外科専門外来を開いています。こちらでは脳神経外科だけでなく、神経内科領域の病気も診ています。海部病院には、海部・那賀地域の公的医療機関の連携・協力体制である「海部・那賀モデル」により、緊急時に患者さんの脳のCT画像を海部病院の脳神経外科の専門医に送り、画像を確認し、診断いただくなどサポートいただいています。

徳島大学病院の医師による呼吸器・膠原病専門外来と徳島赤十字病院の医師による循環器専門外来もそれぞれ月1回開いています。

徳島大学病院へは高度な医療が必要な患者さんを上那賀病院から紹介し、回復された患者さんを徳島大学病院から上那賀病院へ紹介し、地域で療養していけるように連携しています。

■ 上那賀病院を取り巻く状況について

地域の高齢化により、看護師をはじめとする医療スタッフが減り、医療の規模を縮小せざるを得ない状況になっています。地域の皆さんが安心して生活できるためにも、看護師の増員や、県内の医師の偏在の解消により、以前のように24時間患者さんを受け入れることができるような体制に戻せることを願うとともに、訪問診療などできることに取り組んでいきたいと思ひます。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

那賀町立上那賀病院
徳島県那賀郡那賀町
小浜137-1
TEL.0884-66-0211

■ 説明は
鬼頭 秀樹(きとう ひでき)
病院長

